

令和6年能登半島地震 コープいしかわが取り組んだこと

コープいしかわは震災で被害に遭われた皆さまが日常の暮らしと笑顔を取り戻すその日まで、寄り添い続けていきます。組合員や全国の生協とともに社会の一員として取り組んだことを報告します。(9月11日記)



どこにいても安心して利用できるように

仮設住宅を訪問

組合員の安否確認や所在確認を進めるため、仮設住宅を職員が訪問しています。これまでに9割を超える組合員の安否確認ができました。7月から週2回、宅配支援部の職員が集中的に仮設住宅訪問を行い、来年3月まで宅配料が無料となることなどをお知らせしました。



8月1日(木) 輪島市の仮設住宅訪問

地域とともに

仮設住宅へコープの調味料セットをお届け

日本生協連のご協力を得て、仮設住宅の入居者へコープの調味料セットを寄贈・お届けしています。2月末から始まり9月11日(水)までに176の仮設住宅、4,509世帯へお届けしました。

ボランティアバスを運行

穴水町で活動するボランティアバスを運行し、組合員と役職員が参加しました。

8月10日(土)に実施した第4回ボランティアバスでは、2チームに分かれ、被災した家の片付けと穴水町甲のボランティアの拠点の開館祝いの会を出す食事の調理手伝いをしました。



12名が参加 ▶

9月7日(土)に実施した第5回ボランティアバスでは、穴水町沖波で公費解体前の家から家財や家電など不用品なものを出し、災害廃棄物仮置き場へ運ぶ作業を行いました。この日は他の団体も同じ家にボランティアに入り、協力しながら片付けをしました。



5名が参加 ▶

コープのつながりを復興の力に

金沢大学にボランティア活動用のヘルメットとビブスを寄贈

日本生協連とコープいしかわは、金沢大学へ災害ボランティア用のヘルメットとビブス30セットを寄贈しました。金沢大学は、輪島市・重蔵神社を拠点に学生・教員による災害ボランティア活動を行っており、学生がより安全に活動できるよう寄贈しました。ヘルメットとビブスには日本生協連、コープいしかわ、金沢大学のロゴがあしらわれています。



買って応援 復興応援企画

被災した生産者やメーカーの商品、能登の原材料を使用した商品を「じわもーる」で企画し、組合員にご利用いただくことで支援につなげます。8月1回じわもーる紙面で能登の応援企画第2弾を企画し、3,004名の組合員からご利用いただきました。



* 参加者感想 *

家の中の片付け、掃除支援は、自宅の状態や家庭によりお一人おひとり違うので、その人の声を聞いてほしいと思いました。

洋服を片付けている時に「これはよそゆきやから残しておいて」とおっしゃっていたのが心に残りました。客観的に必要か不必要かではなく、その方がその方らしく暮らしていけることが当たり前の中になってほしいです。



応援ボランティア登録募集中!

災害ボランティアセンター運営支援

6月より毎週金曜日から日曜日の3日間、職員を派遣して穴水町災害ボランティアセンターの運営支援をしています。日本生協連、全国の生協からの応援職員とともに町民からのニーズとボランティアのマッチング・調整などに継続して取り組みました。9月末まで延長して支援をします。



継続中

●金沢市が給与するみなし仮設用生活用品を「くらしと生協」で調達。9月20日(金)で終了。●輪島市で避難者向け弁当を毎日各拠点まで納品。9月から70食に変更。10月まで延長。●粟津温泉の2次避難所の食事を毎日お届け。昼食はコープこまつ、夕食は小松センターから弁当を配送。8月末で終了。

Q 鶏のエサが米の場合は黄身の色が薄い黄色になると聞きましたが、米そだちたまごは大変色が濃いのはなぜですか。地養卵と米そだちたまごのエサの違いはありますか。



組合員の声

A 米そだちたまごを産む鶏には食欲増進につながるパプリカやトウガラシを与えることで濃い黄身の色になっています。

米そだちたまごを産む鶏にはトウモロコシ・大豆・海藻など、天然の原料を配合した独自の「植物タンパク飼料」を与えています。米の比率は約10%となっており卵の色に大きな変化はありません。「地養卵」を産む鶏の主なエサは、トウモロコシ・大豆に地養素(ブナ・ナラの樹液に海藻やヨモギを加えたもの)を加えたものです。

Q 能登産のものがあつたら優先的に買いたいのですが、カタログでうまく見つけられません。

A 能登の商品にはハート型のマークを表示しています。

コープファミリーと「ゆとろぎ+」で年間企画している商品の中で、能登半島に関わる(製造・原料・監修)商品は約30品ほどです。これらの商品が組合員の目に留まるように、5月から能登の商品には下記のマークを表示するようにしました。コープファミリーでは年4回、じわもーるでは隔月で能登の商品を集めた「被災地支援特集」をして、組合員の利用を呼びかけていきます。じわもーるでは毎週10品前後、能登にゆかりのある商品を掲載しております。ぜひご利用ください。



コープいしかわの姿

2024年4月1日～2024年7月31日

	予算	実績	前年
宅配事業供給高(億円)	45.0	45.1	46.0
店舗事業供給高(億円)	14.0	14.7	13.6
経常剰余金(万円)	-3,659	-254	-429

出資金: 72億7,542万円 (UP 3,936万円)

組合員数: 167,361人 (UP 331人)

(カッコ内は前月比)

7月度安全確認情報
(6月21日～7月20日 検査結果判明分)

検査名	検査実施数
新商品事前	312品
定例企画商品	236品
残留農薬検査	10品
ヒスタミン検査	2品
産地判別検査	3品

組合員の環境貢献度(8月度)

商品カタログ回収率 **80.9%**
注文書袋・保冷箱内袋回収率 **26.9%**

理事会だより

2024年度 第4回 8月29日(木)開催

承認及び報告された主な議題は次の通りです。

決まったこと

1. 7月度事業・経営報告 承認の件

- 宅配事業では組合員の安否確認を継続して行い、のと北部センター全体のカタログ配布は震災前の64.8%まで回復しました。また、第3回能登復興推進プロジェクトを7月29日(月)のとセンターで開催しました。
- 7月5回じわもーるの表紙で能登復興支援企画として、アイ・ミルク北陸の「のとそだち」の「のとそだち のむヨーグルト」の特集を行いました。これに合わせて動画「満天★はまちゃんレストラン」の第2弾となる「アイ・ミルク北陸～能登の復興応援～編」を制作し公開しました。
- フードドライブを石川東地域協議会、石川西地域協議会で開催し、合わせて145点、41kgの食品が提供され、いしかわフードバンク・ネットを通して地域の社会福祉協議会に寄贈しました。
- 7月3回より開始した冷凍弁当の定期登録は計画比111.7%となりました。利用者数の約2割は夕食宅配の配達エリア外(珠洲市・能登町)からとなり、暮らしのお役立ちが広がりました。

2. 第26期総代定数及び総代選挙区 承認の件

報告されたこと

1. 第25期 秋の総代会議開催要項2024年度特定監事の選定について
2. 第26期総代選出の取り組みについて第25回通常総代会のまとめと次年度への課題